

第14回人権週間 「誰かのこと じゃない」 ～つるたっ子人権教育・人権集会の取組～

子供たちは、成長すればするほど、私たちの身の周りにある多くの人権問題に気づくことでしょ。だからこそ、人権について自分の問題として考える「人権意識」を育むことはとても大切な教育のひとつです。今年は、雲仙市社会福祉協議会より聴覚障がい者地域ボランティアの柴田さん（吾妻在住）を招いて、福祉講座をしていただきました。柴田さんが聴覚をなくした経緯から、ろう学校での生活、定年退職までの社会人生活等のお話を聞いて、手話のワークショップを行いました。



4年生作成の掲示用集会プログラム



講師の柴田さんから手話指導がありました。



手話の意味当てクイズでは、たくさん手があがいました。



お礼の言葉は6年生が手話で行いました。



「つるたっ子仲良し宣言」のあと、「ともだちになるために」を手話で表現しました。参観の保護者、地域の方も笑顔で見守ってくださいました。みんなを（もちろん自分も）大切にできる大人に成長してほしいと思います。